



「第2次千歳市健康づくり計画」

概要版

(平成28年度～平成34年度)

より一層の少子高齢化の進展や疾病構造の変化が予想される中、国が示した「健康日本21(第2次)」の趣旨を踏まえ、市民一人ひとりがそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを進める社会の実現を目指し、市民の新たな健康づくりの目標と具体的な取組を示した「第2次千歳市健康づくり計画」を策定しました。



第1章 計画の策定に当たって

○計画の位置付け

- ・「第2次千歳市健康づくり計画」は、健康増進法に基づく市町村健康増進計画です。
- ・「第2次千歳市健康づくり計画」は、市民主体の健康づくりを支援するための施策について定めたもので、乳幼児期から高齢期までのあらゆる世代の健康増進施策を総合的に推進することを目的としています。

○計画の期間

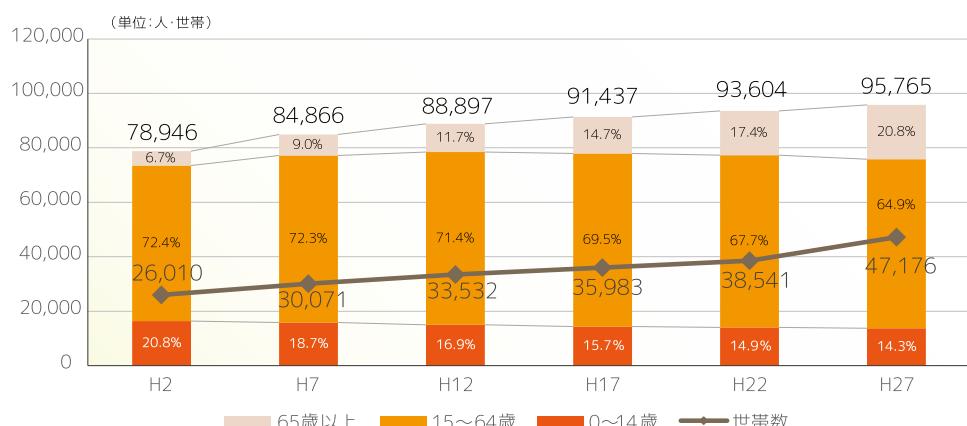
- ・「第2次千歳市健康づくり計画」の計画期間は、平成28年度から34年度までの7年間です。

第2章 市民の健康を取り巻く現状

1 千歳市の人口動態等

平成 27 年 10 月 1 日現在の千歳市の人口は 95,765 人、世帯数は 47,176 世帯となっています。65 歳以上人口の構成比が増加しており、北海道一若いまちとされる千歳市においても、高齢化が進展していることがはつきりとうかがえます。

■千歳市の年齢3区分別人口構成・世帯数の推移



出典:国勢調査、千歳市住民基本台帳(平成27年10月1日現在)

死因別に見ると、最も死亡率（人口 10 万人当たりの死亡数）が高いのは悪性新生物（がん）で 250.7 となっており、以下、心疾患（102.6）、肺炎（62.4）、脳血管疾患（47.6）と続いています。これらの疾患は生活習慣に起因するものが多く、その発症予防・早期発見・早期治療に向けた取組を促進していく必要があります。

■平成24年の死因別死亡率

1位	悪性新生物(250.7)	4位	脳血管疾患(47.6)
2位	心疾患(102.6)	5位	自殺(29.6)
3位	肺炎(62.4)	6位	じん不全(22.2)

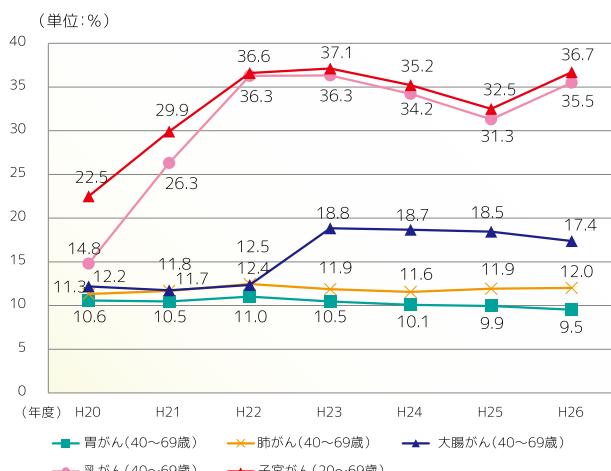
出典:石狩地域保健情報年報

2 市民の健康状態等

■がん検診

子宮がんと乳がんは 21 年度以降、大腸がんは 23 年度以降に検診の無料クーポンを配布したことにより、受診率が大幅に向上去っていますが、胃がんと肺がんは概ね 1 割程度の受診率で推移しており、今後の受診率向上が課題となっています。

■各種がん検診の受診率(40～69歳、子宮は20～69歳)

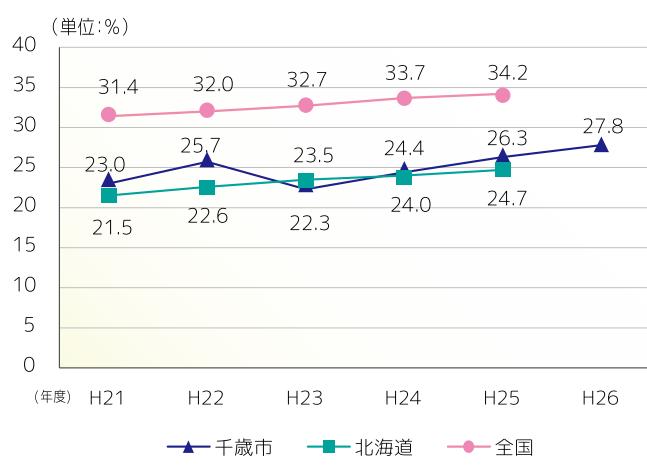


出典:地域保健・健康増進事業報告

■特定健康診査

生活習慣病の発症予防・早期発見には、特定健康診査（通称メタボ健診）の受診が重要な役割を果たしています。平成 26 年度の市国保特定健康診査の受診率は 27.8% となっており、近年では最も高い受診率となりましたが、全国平均を下回っており（平成 25 年度比較）、受診率の向上が課題となっています。

■市町村国保特定健康診査受診率の推移



出典:国保特定健康診査等実施状況結果報告

■メタボリックシンドローム該当者・予備群

心血管疾患や糖尿病につながりやすいメタボリックシンドロームの該当者割合は、予備群を含めると全体では 26.7%ですが、男性で 43.2%と高くなっています。

■メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

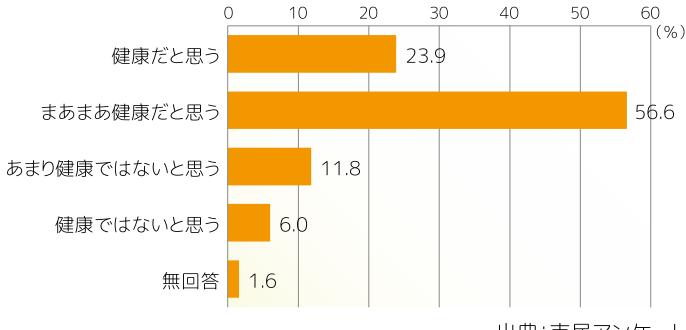


出典:国保特定健康診査等実施状況結果報告

■市民の健康認識

自らを「あまり健康ではないと思う」「健康ではないと思う」市民が約2割となっており、この割合を減らしていくための取組が必要です。

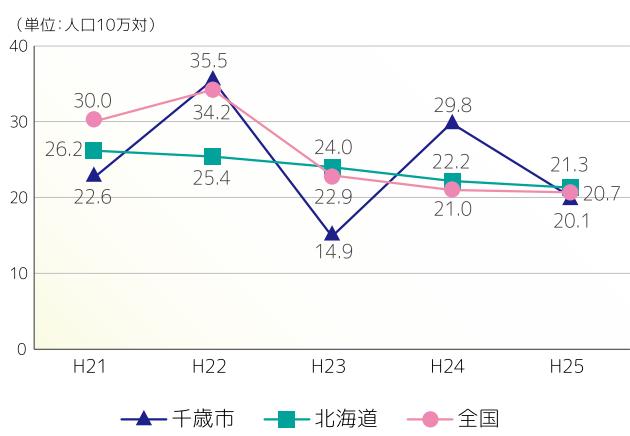
■健康の自覚



■こころの健康

千歳市民の人口 10 万人当たりの自殺率は、平成 22 年と 24 年では北海道と全国の数値よりも高くなっています。

■千歳市の自殺率の推移(北海道・全国との比較)

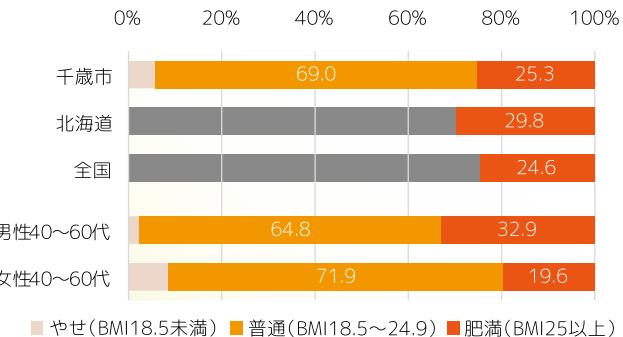


出典:北海道保健統計年報

■BMI

肥満気味であると判定される BMI25 以上の人割合は、平成 25 年度で 25.3% となっており、全国 (24.6%) より高くなっています。また、40 ~ 60 代の男女別に見ると、男性は 3 人に 1 人が、女性は 5 人に 1 人が肥満気味であることが分かります。

■健診結果に見るBMI(男女別、年代別)

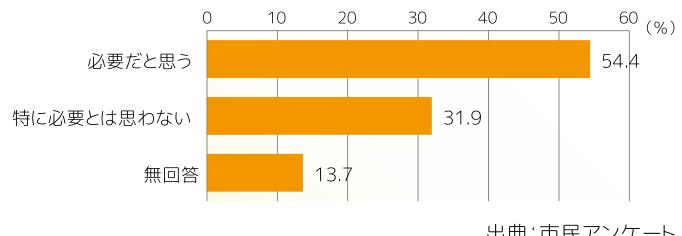


出典:国保特定健康診査等実施状況結果報告

■喫煙

平成 27 年度の市民アンケートによると、喫煙率は 18.8% と 5 年前の 23.8% に比べ減少しています。また、喫煙者のうち、禁煙・節煙の意向がある喫煙者が 6 割近くいます。喫煙者の禁煙意欲を後押しする取組が必要とする市民は、過半数を超えています。

■禁煙意欲を後押しする社会的取組の必要性

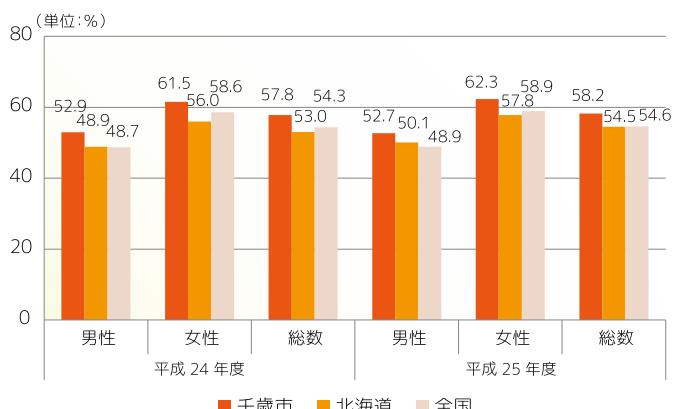


出典:市民アンケート

■悪玉コレステロール有所見者

循環器疾患の発症リスクが高い LDL コレステロール値 120mg/dl 以上の人には、平成 25 年度の男性で 52.7% ・ 女性で 62.3% と、男女共に北海道と全国を上回っています。

■健診結果に見るLDLコレステロール有所見者の割合



出典:国保特定健康診査等実施状況結果報告

第3章 計画の基本的考え方

【基本理念】

市民一人ひとりが生涯にわたり

住み慣れた地域や家庭で

自分らしく健康な生活ができるまち

【全体目標】

全ての市民を対象に、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた生活習慣の改善や、健（検）診の定期的な受診を促進することで、健康寿命を延伸し、いくつになってもできるだけ自立した生活を送ることのできる健康な市民を増やすことを目標とします。

【全体（最終）目標】

健康市民をふやそう

指標
1

健康だと思う人の割合 80.5% → 82.0%
(市民アンケート数値)

指標
2

健康寿命の延伸 男性 78.85歳 (平均寿命 80.00歳)
女性 85.18歳 (平均寿命 87.72歳)
↓
平均寿命の伸び率を上回る健康寿命の伸び率の増加

目指す姿

健康寿命を延ばし、誰もが活躍することができる社会
子どもも大人も高齢者も、希望や生きがいを持てる社会
疾患や介護を有する人も、満足できる人生を送れる社会
社会環境の改善を図り、健康を大切にする社会
地域の健康格差を縮小し、世代間の相互扶助が機能する社会

【計画体系】

本計画の体系図は、以下のとおりです。

【基本理念】
市民一人ひとりが生涯にわたり住み慣れた
地域や家庭で自分らしく健康な生活ができるまち

【全体目標】
健康市民をふやそう



【基本方向】

健康市民を増やすために「6つの基本方向」を定め、将来を見据えた施策を展開します。

基本方向 1

健康寿命の延伸 (生活習慣の改善)

健康づくりの基本である「①栄養・食生活」「②身体活動（運動等）」「③休養」「④飲酒・喫煙」「⑤歯・口腔」の5分野を取り組む事項に設定し、生活習慣の改善に向けた働きかけを行います。

基本方向 2

生活習慣病の 早期発見と重症化予防

「①がん」「②循環器疾患」「③糖尿病」「④COPD」を対策が必要な疾患に設定し、病気の早期発見・早期治療に有効とされるがん検診や特定健診等の定期的受診を促進するとともに、特定保健指導等の実施率の向上を図ります。

基本方向 3

次世代の健康づくり

妊娠を希望する市民を対象とした健康づくりを推進するとともに、母子保健対策を所管する総合保健センターと市民病院を始めとした医療機関や子育てコンシェルジュ所管の地域子育て支援センター、家庭児童相談室などの事業・関連機関間との連携を強化し、妊娠前から育児期までの切れ目のない支援を行い、次世代を担う子どもとその親の健康づくりを推進します。

基本方向 4

高齢者の健康づくり

千歳市介護予防センターを中心に、介護事業所や医療機関等と連携して、介護予防や認知症高齢者への対応などに取り組むほか、地域での住民同士の支え合いや交流などを促進します。特に、地域単位で仲間と一緒に取り組める「いきいき百歳体操」や「かみかみ百歳体操」を始め、北欧フィンランド発祥の「ノルディックウォーキング」で街中を散策する活動を普及促進するなど、高齢者が楽しみながら運動を継続できる仕組みを構築します。

基本方向 5

こころの健康づくり

うつ病や自殺防止に対する正しい知識の普及啓発に努めるとともに、こころの不調の早期発見・早期受診等につなげる取組を推進します。

基本方向 6

社会環境の整備

市民が健康づくりに関心を持ち行動しやすいよう、学校や地域、医療機関、企業等と連携し地域のつながりや多様な主体による自発的取組を促進します。

【重点施策】

子育て世代を包括的に支援するための「子育て世代包括支援センターネットワーク構想」と、地域における介護予防を推進するための「ノルディックウォーキングのまち構想」の2つの構想を掲げ、長期的展望に立って「健康のまちづくり」を推進します。

構想 1

「子育て世代包括支援センターネットワーク構想」(ちとせ版ネウボラ)

妊娠中や子育て中に一人で悩まず気軽に相談できるネットワーク型の「子育て世代包括支援センター」(ちとせ版ネウボラ)を立ち上げ、若い世代が安心して、妊娠・出産、子育てができるまちづくりを進めます。

構想 2

「ノルディックウォーキングのまち構想」

ノルディックウォーキングで街の中を仲間と一緒に歩き、幅広い年齢の市民が会話を楽しみながら運動する機運を醸成し、市民が主体的に健康増進に取り組むまちづくりを進めます。

第4章 施策の展開

1 健康寿命の延伸（生活習慣の改善）

（1）栄養・食生活

【個別目標】

目標① 適正体重を維持している市民を増やします。

目標② 適切な量と質の食事を摂取している市民を増やします。

主な事務事業

事業名	概要
【新規】野菜レシピ普及促進事業 ～ベジ食べる350～	市民が1日350gの野菜を摂取できるよう、「野菜レシピカード」を作成し、スーパー等での配布を通じて普及啓発します。
【新規】健康教育（出前講座） 子どものうちからの生活習慣病予防	生活習慣病に罹患する危険性を下げるため、子どものうちからバランスの取れた食生活の実践を促し、肥満等の予防を働きかける出前講座を実施します。
【新規】健康教育（収集型） 母性の健康づくり	次世代を担う母性が心身共に健康を保持できるよう、将来子どもを希望する女性を対象に、バランスの取れた食生活や親になるための心構えなどについて普及啓発します。
【新規】妊婦食生活実態調査事業	効果的な事業を実施するための基礎資料とするため、全ての妊婦を対象に、食に関するアンケートを実施します。あわせて、必要時には食生活について助言指導を行います。

（2）身体活動（運動等）

【個別目標】

目標① 日常生活における市民の身体活動量(歩数)を増やします。

主な事務事業

事業名	概要
健康ウォーキング事業	気軽に楽しく体を動かすことができる「ウォーキング」を普及させるため、ウォーキングマップの作成や、「水と緑を歩こう会」「まちなかウォーキング事業」「ノルディックウォーキング体験」などを実施します。
【新規】「身体活動量」増加促進事業	身体活動量が不足気味の若い世代を対象に、「身体活動計」を活用したモデル事業等の実施を検討します。

（3）休養

【個別目標】

目標① 睡眠による休養を確保している市民を増やします。

主な事務事業

事業名	概要
健康教育（休養）	睡眠や休養の必要性を啓発するため、保健師による健康講話などを実施します。 ①千歳学出前講座②健康づくり教室（収集型）

(4) 飲酒・喫煙

【個別目標】

目標① 過度な飲酒をしている市民を減らします。

目標② 妊娠又は授乳中の飲酒を控える妊婦等を増やします。

目標③ たばこを吸う市民を減らします。

目標④ 妊娠又は授乳中の喫煙を控える妊婦等を増やします。

主な事務事業

事業名	概要
【新規】適正飲酒啓発事業	適正飲酒について、ホームページやリーフレットを活用し、正しい知識の普及啓発を行います。
【新規】禁煙治療チャレンジ応援事業	妊婦や子どもの受動喫煙防止を目的に、子育て中の保護者を対象にした禁煙治療費の一部助成など、より効果的な方策について調査研究します。

(5) 歯・口腔^{くう}

【個別目標】

目標① むし歯や歯周病により歯を喪失する市民を減らします。

目標② 定期的に歯科健診に行く市民を増やします。

主な事務事業

事業名	概要
【新規】歯科健診受診促進事業 ～カム噛むガムチェック～	定期的な歯科健診の受診を促進するために、そしゃく力チェックガムを活用し、歯や口腔機能に対する正しい知識の普及啓発を行います。
歯科健診・フッ化物塗布	1歳から就学前の幼児を対象に、歯科医師による歯科健診とフッ化物塗布を実施するとともに、歯科衛生士による歯科相談と歯磨き指導を実施します。

2 生活習慣病の早期発見と重症化予防

(1) がん対策

【個別目標】

目標① がんで死亡する市民を減らします。

目標② 定期的にがん検診を受診する市民を増やします。

目標③ たばこを吸う市民を減らします。(再掲)

主な事務事業

事業名	概要
各種がん検診	早期発見・治療を目的とした各種がん検診を実施します。
がん検診受診促進事業	がん検診受診率の向上を図るため、特定の年代の市民に、国の補助事業を活用した子宮がん検診・乳がん検診の無料クーポン券を配布します。
【新規】企業連携によるがん検診受診率向上事業	市と企業や団体等が「千歳市がん予防啓発推進に関する連携協定」を締結し、受診率向上のために相互に協力してがん検診の周知・啓発活動を行います。

(2) 循環器疾患対策

【個別目標】

- 目標①** 脳血管疾患で死亡する市民を減らします。
- 目標②** 虚血性心疾患で死亡する市民を減らします。
- 目標③** 高血圧症になる市民を減らします。
- 目標④** 脂質異常症になる市民を減らします。
- 目標⑤** メタボリックシンドロームに該当する市民(予備群を含む。)を減らします。
- 目標⑥** 定期的に特定健康診査を受診する市民を増やします。
- 目標⑦** 特定保健指導の実施率を向上させます。

主な事務事業

事業名	概要
千歳市国民健康保険 特定健康診査	市国民健康保険に加入している40～74歳の市民に対し、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施します。
【新規】(市国保) 40歳未満への健診受診勧奨事業	19～39歳の千歳市国保加入者を対象に、若い年代からの生活習慣の改善と健診受診の習慣化を図るため、健診の受診勧奨を行います。
【新規】(市国保) 重症化予防保健指導事業	市国保特定健康診査を受診し、特定保健指導の対象者にならなかった人のうち、高血圧、脂質異常症、高血糖、慢性腎臓病などにより、生活習慣病の重症化のおそれがある人を対象に保健指導を実施します。

(3) 糖尿病対策

【個別目標】

- 目標①** 糖尿病になる市民を減らします。
- 目標②** 糖尿病の治療を中断する市民を減らします。
- 目標③** 糖尿病を悪化させる市民を減らします。
- 目標④** 糖尿病による合併症を発症する市民を減らします。
- 目標⑤** 定期的に特定健康診査を受診する市民を増やします。(再掲)
- 目標⑥** 特定保健指導の実施率を向上させます。(再掲)

主な事務事業

事業名	概要
【新規】(市国保) 糖尿病性腎症予防事業	市国保特定健康診査受診者のうち、糖尿病による慢性腎臓病のリスクが高い人に、糖尿病性腎症の早期発見に有効な微量アルブミン尿検査と保健指導を実施します。
妊婦一般健康診査 (尿・血糖検査)	妊産婦の健康の保持と疾病の早期発見を図るため、妊婦一般健康診査時に尿検査を実施します。尿糖などの所見が見られる場合は、赤ちゃん訪問や乳幼児健診等で受診確認や受診勧奨を行います。

(4) COPD対策

【個別目標】

目標① COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度を向上させます。

目標② たばこを吸う市民を減らします。(再掲)

目標③ 妊娠又は授乳中の喫煙を控える妊婦等を増やします。(再掲)

主な事務事業

事業名	概要
喫煙（受動喫煙）ストップ啓発事業	パネル展やホームページによる周知のほか、市の集団健診時や健康イベントなどにおいて、禁煙ブースを設置し、喫煙による健康への影響や、禁煙の心身への効果、禁煙外来情報、COPDなどについての情報を発信し、喫煙防止の必要性を普及啓発します。
COPDの啓発活動と禁煙指導	市国保特定健康診査や各種健康診査受診時に、喫煙者にCOPDの周知啓発を行うとともに、呼気中一酸化炭素濃度測定と禁煙指導を実施し、その1か月後に電話による継続した禁煙指導を実施します。

3 次世代の健康づくり

【個別目標】

目標① 朝食を摂取している3歳児を増やします。

目標② 妊娠又は授乳中の飲酒を控える妊婦等を増やします。(再掲)

目標③ 妊娠又は授乳中の喫煙を控える妊婦等を増やします。(再掲)

目標④ 適正な体重で生まれる子どもを増やします。

目標⑤ 妊産婦の不安を軽減します。

主な事務事業

事業名	概要
【新規】（仮称）陣痛対応タクシー事業	市内のタクシー事業所と連携協定を締結し、妊婦が陣痛の際に安心してタクシーを利用できる体制づくりについて検討します。
【新規】（仮称）ママサポートタクシー事業	市内のタクシー事業所と連携し、子育て中の親子が安心してタクシーを利用できる体制づくりについて検討します。
【新規】不妊治療費助成事業（一般不妊治療）	子どもを望んでいるにもかかわらず不妊に悩む夫婦に対し、市の独自事業として一般不妊治療（人工授精）費を新たに助成します。
【新規】産前・産後ケア事業	出産・育児に対する不安を軽減するため、家庭訪問や母乳相談、デイサービスなど、妊娠婦の心身を支える「産前・産後ケア事業」の実施について検討します。
【新規】子育て世代包括支援センター（ちとせ版ネウボラ）の構築	総合保健センター（母子保健分野）、地域子育て支援センター（子育てコンシェルジュ）、家庭児童相談室（養育支援分野）が核となり、ネットワーク型の子育て世代包括支援センターを構築し、妊娠期から子育て期までの様々なニーズに対して包括的な支援を提供します。

4 高齢者の健康づくり

【個別目標】

目標① 介護予防を推進し、健康な高齢者を増やします。

目標② 認知症に対する理解を深め、介護する家族を地域全体で支えます。

目標③ 高齢者の豊かな経験と能力を地域社会に生かします。

主な事務事業

事業名	概要
【新規】ノルディックウォーキング講習会	専門講師によるノルディックウォーキング講習会（初級コース・中級コース）を開催し、広く市民に普及させることで「ノルディックウォーキングのまち」を目指します。
【新規】ノルディックウォーキング用ポール貸出事業	介護予防に効果のあるノルディックウォーキングの普及を図るため、介護予防センターが40歳以上の市民にポールの貸出しを行います。
【新規】認知症初期集中支援チームの設置	認知症の早期発見・早期対応を図るため、認知症の初期の段階から、医療と介護の専門職チームがその人の症状に沿った対応をアドバイスする体制を構築します。
【新規】認知症ケアパスの作成と普及	認知症と疑われる症状が発症した場合に、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスを受ければ良いか理解するための、認知症ケアパス（認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れ）の作成と普及を推進します。

5 こころの健康づくり

【個別目標】

目標① 市民の自殺を無くします。

目標② 児童生徒の悩みや不安、ストレスを軽減します。

目標③ 妊産婦や子育て中の親の精神的な安定に努めます。

主な事務事業

事業名	概要
こころの健康づくり講演会	自殺の予防に向けたこころの健康づくりの必要性を啓発するため、精神科医などを講師とした講演会を実施します。
うつスクリーニング事業	39歳の市民にうつチェック票を送付し、うつ症状についての普及啓発を行います。また、ハイリスク者には電話や家庭訪問による状況確認や必要な支援を行います。

6 社会環境の整備

【個別目標】

目標① 地域のつながりを強化します。

目標② 多様な主体による自発的取組を促進します。

主な事務事業

事業名	概要
【新規】企業連携によるピンクリボン運動推進事業	社会全体でがん予防に取り組む機運を醸成するため、市と企業や団体等が「千歳市がん予防啓発推進に関する連携協定」を締結し、ピンクリボン運動によるがん予防啓発を推進します。
【新規】（仮称）健康づくり推進協議会設置事業	学校・企業・団体等の保健医療関係者や自主グループが参加する「（仮称）千歳市健康づくり推進協議会」を設置するなど、地域の健康課題の解決に向けた連携体制の強化を目指します。

第5章 成果指標

全体目標である「健康市民をふやそう（健康だと思う人の増加・健康寿命の延伸）」のほか、6つの基本方向に対応した個別目標の達成状況を、以下の成果指標を基準に隨時測定していきます。

<全体目標に対する成果指標>

指 標	現状値	目 標
健康であると感じている者の割合の増加（20歳以上）	80.5% (平成27年度)	82.0%
日常生活動作が自立している期間の平均（健康寿命）の延伸	【男性】78.85歳 【女性】85.18歳	平均寿命の伸び率を上回る 健康寿命の伸び率の増加

<個別目標に対する成果指標>

	指 標	目 標
栄養・食生活	40歳以上70歳未満の肥満者（BMI25以上）の割合の減少 <市国保特定健診受診者>	【男性】31% 【女性】19%
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の者の割合の増加（20歳以上）	80%
	朝食をとっている者の割合の増加	【20歳未満】95%以上 【20歳以上】85%以上
身体活動（運動等）	週2回・30分以上の持続運動を1年以上継続している者の割合の増加（40～74歳）<市国保特定健診受診者>	【男性】57.8% 【女性】50.4%
休 養	睡眠による休養が十分とれている者の割合の増加（40～74歳） <市国保特定健診受診者>	85%
飲酒・喫煙	飲酒の頻度がほぼ毎日で1日当たりの飲酒量が日本酒換算で2合（女性は1合）以上の者の割合の減少（20歳以上）	【男性】13% 【女性】6.4%
	妊婦の飲酒率の減少	0%に近付ける
	成人の喫煙率の減少（40～74歳）<市国保特定健診受診者>	12%
	妊婦の喫煙率の減少	0%に近付ける
歯・口腔	20本以上自分の歯を有する80歳（75～79歳）の者の割合の増加	50%
	24本以上自分の歯を有する60歳（55～59歳）の者の割合の増加	46.3%
	3歳児でもむし歯のない者の割合の増加	85%以上
	年に1回以上歯科健診・指導等を受けた者の割合の増加（20歳以上）	65%
がん対策	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（10万人当たり）	73.9（人）以下
	千歳市胃がん検診の受診率の向上（40～69歳）	【男性】17.3% 【女性】14.3%
	千歳市肺がん検診の受診率の向上（40～69歳）	【男性】29.5% 【女性】22.6%
	千歳市大腸がん検診の受診率の向上（40～69歳）	【男性】34% 【女性】34.7%
	千歳市子宮がん検診の受診率の向上（20～69歳）	48.7%
	千歳市乳がん検診の受診率の向上（40～69歳）	45.4%
	成人の喫煙率の減少（40～74歳）<市国保特定健診受診者>（再掲）	12%

<個別目標に対する成果指標（続き）>

循環器疾患対策	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少（10万人当たり）	【男性】35.8（人） 【女性】15.8（人）
	虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少（10万人当たり）	【男性】31.8（人） 【女性】13.7（人）
	高血圧症有病者（収縮期血圧140mmHg以上又は拡張期血圧90mmHg以上）の割合の減少（40～74歳）<市国保特定健診受診者>	【男性】29.3% 【女性】20.6%
	脂質異常症有病者（LDLコレステロール160mg/dl以上）の割合の減少（40～74歳）<市国保特定健診受診者>	【男性】6.2% 【女性】8.8%
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少（40～74歳）<市国保特定健診受診者>	【該当者】16.5%以下 【予備群】8.5%以下
	市国保特定健康診査の受診率の向上（40～74歳）	60%以上
糖尿病対策	市国保特定保健指導の実施率の向上（40～74歳）	60%以上
	糖尿病有病者（HbA1c6.5%以上）の増加の抑制（40～74歳）<市国保特定健診受診者>	187人
	治療継続者の割合の増加（40～74歳）<市国保特定健診受診者>	75%
	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者（HbA1c8.4%以上）の割合の減少（40～74歳）<市国保特定健診受診者>	0.8%
	合併症（糖尿病性腎症患者千人当たりの新規患者数）の減少<市国保特定健診受診者> <small>じん</small>	0.4（人）以下
	市国保特定健康診査の受診率の向上（40～74歳）（再掲）	60%以上
COPD対策	市国保特定保健指導の実施率の向上（40～74歳）（再掲）	60%以上
	COPDの認知度の向上（20歳以上）	80%以上
	成人の喫煙率の減少（40～74歳）<市国保特定健診受診者>（再掲）	12%
次世代の健康づくり	妊婦の喫煙率の減少（再掲）	0%に近付ける
	朝食を毎日とっている3歳児の割合の増加	100%に近付ける
	妊婦の飲酒率の減少（再掲）	0%に近付ける
	妊婦の喫煙率の減少（再掲）	0%に近付ける
	2,500g未満出生率の減少（出生千人当たり）	減少傾向へ
	4か月児健診時に精神状態が「良い」と感じている母親の割合の増加	増加傾向へ
高齢者の健康づくり	介護予防サロン事業の実施団体数の増加	60団体以上
	介護予防リーダー養成講座修了者数の増加	300人以上
こころの健康づくり	自殺者の減少（10万人当たり）	0（人）に近付ける
社会環境の整備	企業連携協定締結事業所の増加	増加
	健康まつり来場者数の増加	1,350人以上
	健康づくり講座出講件数の増加	50件以上

第2次千歳市健康づくり計画【概要版】

（平成28年度～平成34年度）

平成28年3月
発行 千歳市

編集 千歳市保健福祉部

〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

TEL 0123-24-3131（代表）

ホームページ <http://www.city.chitose.hokkaido.jp/>